

男子ホッケー ニュージーランド遠征

日付	2014年3月6日 12:30~13:50		
場所	ニュージーランド・オークランド	天候	晴れ
試合	第1戦	通算結果	日本 1敗

Country
日本
JAPAN

RESULT

Full Time	2	-	4
Half Time	1	-	0

Country

ニュージーランド
Invitation
NEW ZEALAND
Invitation

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	高瀬克也(GK)			
✓	3	粥川幸司(C)			
	11	4 佐々木拓郎			
✓	5	塩川直人			
	5	6 河内伸仁			
✓	7	小野知則			
✓	9	藤本一平			
✓	14	長澤克好	45		
✓	15	山下学			
	5	16 畠山学			
✓	18	井島光希			
✓	20	川上良平			
	5	22 大門美生			
	5	25 柳本主貴			
✓	29	山部晃嗣			
	5	30 吉原平太			
		31 森嶋彬(GK)			
✓	32	橘敏郎			
Coach	姜建旭				
Team Manager	藤原信幸				
UMPIRE	Bond Tim(NZL)				

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓		Bennett Cory			
✓		Child Marcus			
✓		Jeness Steve			
	10	Panchia Jared	9		
	58	Joyce Richard(GK)			
	6	Hilton Blair			
✓		Panchia Arun(C)	34		
	5	Muir George			
✓		Inglis Hugo			
✓		Woods Nick			
	5	Ross Nick			
✓		Lett Dane			
✓		Shaw Alex			
✓		Russell Kane			
✓		Petherick Richard			
	6	Bartholomew Joe	44		
✓		Enerson George(GK)			
Coach	Collins Bryce				
Team Manager	Grant James				
UMPIRE	Ellis-Jack Hamish(NZL)				

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	14	佐々木拓郎	FG	1-0
NZL	43	Hilton Blair	FG	1-1
NZL	58	Panchia Jared	FG	1-2

Team	Minute	Name	Action	Score
NZL	62	Jeness Steve	FG	1-3
JPN	63	大門美生	FG	2-3
NZL	70	Inglis Hugo	FG	3-3

ニュージーランドのシニア代表候補選手から構成された、ニュージーランドInvitationとの対戦である。ニュージーランドInvitationとの3試合では、試合の内容は当然ながら、若手選手に国際試合の出場機会をより多く与え、国際経験させることも目的の一つとして臨む。

(前半)
両チームとも立ち上がりから積極的に攻撃を仕掛け、先制点を奪ったのは日本。14分日本はニュージーランド陣内で反則を奪う。これを粥川がライトの長澤へ展開し、長澤はゴール前にプッシュでボールを流し込むと、完全にボールウォッチャーとなったニュージーランドDFの裏で、フリーとなった佐々木がタッチで合わせ先制する。その後も両チームは何度か攻め込むが、得点には至らず、前半は日本のリードで終える。

(後半)
後半に入り日本は39分ライトのロングコーナーから小野・山部へとボールを繋ぎ、PGを取得するが、ニュージーランドの固い守備により得点を奪うことができない。その後43分日本は、自陣レフトの深い位置からの前線へのパスを奪われると、中央へのドリブルからレフトへパスを通され、最後はリバースシュートから同点とされる。58分には日本は自陣でボールを奪われカウンターを喰らうが、ロングコーナーに逃れる。しかし、このロングコーナーのリスタートのドリブルからセンタリングを許すと、タッチシュートから2点目を奪われる。更に62分には、ニュージーランドに中盤からドリブルインを許し、ゴール前のスペースにボールを流し込まれると、最後は混戦の中から決めれ1-3となる。日本はすぐに反撃を仕掛け、ライトでフルプレスからボールを奪うと、藤本から小野、畠山とボールを展開し、最後は中央への打ち込みから大門がタッチシュートを決め、2-3となる。このまま試合終了かと思われた70分、またも日本は自陣でボールを奪われ、右45度からのドリブルシュートを決めれ2-4で試合終了となった。

前半は動きが良かった日本であったが、後半に入り次第にニュージーランドに主導権を握られ、後半に課題を残す試合内容となった。

日本	15	シュート数	14	ニュージーランド Invitation
	3	PC数	2	

次戦(第2戦) 3月7日(金) 20:00 ~

記載責任者:男子コーチ 藤原 信幸